

地域の概要



陽成は、薩摩川内市の中部、麦ノ浦川の流域に位置している。山に囲まれ、自然豊かな地域。人口504名、高齢化率54.9%。高齢化率が高く、コロナ禍で担い手不足が地域の課題として挙げられている。

取組のきっかけ

自治会で住民支え合いマップを実施した時に、コロナ禍で地域内で集まる機会が減ったと話題に挙げたことがきっかけ

取組の目的

- 地域のシンボルであるイチョウを生かした、集いの場としての拠点づくり
- 地域内での集いの場の立ち上げ
- 住民支え合いマップの実施（見守りについての協議の場）

これまでの経緯

年・月	出来事
令和4年12月7日	住民支え合いマップを実施
	・コロナ禍で地域で集まる機会が減った と意見あり
	生活支援コーディネーターが、他地区の集いの場について情報提供
	自分たちでも取り組んでみよう



活動の概要

○集いの場1○
移動販売で、人が集まること利用し、移動販売車が来る前にラジオ体操を始める
週に1回
9人参加
料金は無料

○集いの場2○
自治会で、毎年「イチョウの杜」でライトアップのイベントを開催。
見学者がゆっくり過ごせるようにと、手作り、手塗りをしたテーブルと椅子の設置
イチョウの横にコスモスを植えたり、草取りしたり手入れをしている



取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

〔SCとしての役割〕

- 住民支え合いマップで集いの場や地域活動の把握
- 他地域の取り組みの情報提供
- 活動開始後のフォロー
- 活動を他地区に広報、情報提供
- 他地区で同じ取り組みが始まったことを、上大迫自治会へ情報提供



現時点での到達点（効果・課題など）

〔効果〕

- 地域の新たな集いの場
- 介護予防（ラジオ体操）
- 高齢者同士の交流
- 参加者が増え、交流が増えた
- 隣の自治会が活動を知り、同じ活動に広がった
- 他地区でも活動が始まり、改めて自治会のやる気となった

〔課題〕

- 高齢化率が高く、今後の継続した活動